

## 編集後記

日本透析医学会をはじめとする透析ガイドラインでは、透析導入の基準や維持透析処方、適正透析処方についての推奨は示されているが、透析導入時の処方について明示したものは少ない。透析導入の初回処方は、不均衡症候群を防止し、患者の不安を軽減するため、透析時間や血流量を少なめに設定することが多い。それに伴って、ダイアライザ膜面積も小さいものが選択され、その後、徐々に血流量や膜面積を増加させていくのが慣例である。透析条件を増加させていく程度、期間などに関して確立されたエビデンスはなく、担当医や施設の慣習に任せられるのが現状である。導入後、数カ月経っても膜面積が小さいダイアライザ

を漫然と使用していることもある。残腎機能が十分にある場合には、incremental dialysis とも考えることができるが、そうでなければ、透析医療の質の問題でもある。本特集では、透析導入時の処方について解説いただき、現場の臨床実践に反映させていただくとともに、今後の研究課題を示していただけたと思う。

長年本誌編集委員をお務めいただき、わが国の透析医療の発展にご貢献いただいた原田孝司先生がご逝去されました。これまでのご指導に深く感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

(小松康宏)

### 2023 年 (Vol. 39) 特集のご案内

- No.① 糖尿病透析患者の全身管理を極める  
— 専門医との連携を目指して  
No.② 血液透析導入の処方

- No. 3 透析スタッフのメンタルヘルス  
No. 4 もっと知ろう 透析患者の栄養と身体  
評価

(既刊は○)

## 臨牀透析® Vol.39 No.2

© 2023 年 2 月 10 日発行  
定価：2,860 円  
(本体 2,600 円 + 税 10%)

- ・ 2023 年 年間購読料 (増刊号含む 13 冊, 税込)  
冊子版 39,050 円  
電子版 (個人のみ) 39,050 円  
冊子版 + 電子版 (個人のみ) 44,550 円  
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・ 年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2023, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541